

日本労働年鑑 第53集 1983年版
The Labour Year Book of Japan 1983

第二部 労働運動

XII 政治的大衆行動と平和運動

7 その他の運動

金大中氏救出、日韓連帯活動

総評は、「在日韓国人〃政治犯〃を支援する全国会議」「在日韓国人政治犯を救援する家族・僑胞の会」が進める、「金大中氏ら全ての韓国政治犯の釈放と在日韓国人『政治犯』死刑確定者五氏の死刑執行中止を要求する署名」に協力してとりくみ、一九八二年評が集めた二万三〇〇人分の署名を日韓両政府と国連人権委員会に提出した。また、総評は社会党、日朝国民会議などとともに、「朝鮮統一支持、日米韓軍事一体化反対、韓国民主化闘争連帯、七・一七中央集会」実行委員会を結成し、八一年七月一七日、「日本の政治反動・軍国化と朝鮮問題を考える」講演会などを開催し、約四〇〇人が参加した。

教科書に真実を言論に自由を

教育とマスコミに押しよせる反動化に反撃しようと、八一年十一月一三日、東京・九段の日本武道館で「教科書に真実を、言論に自由を——そして平和を。〃音楽と文化〃わたしたちの集い」が開催された。この集いは、教育への権力介入、マス・コミへの政治的圧力やNHKの国営化策動などの危険な動きに危機感を強めた作家の大江健三郎、野坂昭如、松本清張、学者の家永三郎、都留重人ら三七人の学者、文化人がよびかけ人となり、これに総評、中立労連、日教組、マスコミ文化共闘、日本子どもを守る会などが加わって開かれたもので、二万人が参加した。集会では、主催者を代表して榎枝総評議長が挨拶。フォーク歌手の小室等さんの歌、俳優の岸田今日子さんの詩の朗読、東京ヴォードヴィルショウ、ゆーとぴあ、小柳トムらのコント、「大きなかぶ」や「かさこじぞう」の劇や唄の上演など、多彩な催しがくりひろげられた。

刑法改悪・保安処分阻止全国総決起集会

政府・自民党が保安処分の新設などを盛りこんだ「刑法改正」法案を通常国会に上程しようとする動きを強める中で、八一年十一月一八日、東京・一ツ橋の日本教育会館で「刑法改悪・保安処分阻止全国総決起集会」が開催された。集会は、総評、護憲連合、部落解放同盟、刑法改「正」——保安処分に反対する百人委員会の主催、日本消費者連盟や障害者団体など一〇団体の協賛で開かれ、約一〇〇〇人が参加した。集会では、田口総評労対局長の挨拶、全国「精神病」者集団の大野萌子さん、水島晃社会文化法律センター事務局長らの発言のあと、「奥野法相に対し、刑法全面改悪の来春国会上程を放棄させる」旨の決議が採択された。

ロッキード疑獄追及

橋本登美三郎、佐藤孝行の政治家被告にたいして第一審で有罪判決の出た、八二年六月八日、ロッキード疑獄追及、金権腐敗政治一掃をめざす「緊急各界代表者会議」が、衆院第二議員会館で

開かれた。会議は、総評、社会党、護憲連合、反安保実行委員会などの主催によるもので、国会議員や労働組合幹部ら二〇〇人が参加した。会議は、当面の行動として、(1)佐藤孝行議員の辞職を要求し、政府・自民党の政治責任追及の活動を院内でおこなう、(2)ロッキード事件調査特別委員会の復活、政治倫理委員会の設置、国会議員の資産公開法と議員証言法の改正を要求する、(3)ロッキード事件関係議員の選挙区で責任追及を中心とした活動を展開する、(4)各地から総理大臣と関係議員への抗議、追及の決議、電報を集中する、(5)全国的な国民的統一行動を展開し、中央では効果的な時期をみて大衆集会とデモをおこなう——の五点を確認し、ロッキード疑獄追及アピールを発表した。

【ロッキード疑獄追及アピール(部分)】

ロッキード疑獄全日空ルートに関与した元運輸大臣・橋本登美三郎と元運輸政務次官・佐藤孝行に対し、今日東京地裁は受託収賄罪に関し、有罪判決を下した。

この判決は、六年前の事件発覚以来事件の徹底解明とこれに関与した者の政治的道義的責任を一貫して追及してきた世論の正しさをあらためて確証したものである。同時に、この判決は閣僚等として国政に責任をもつ政治家が、公正な政策の立案、決定、運用という国民の負託を裏切り、特定の者の利益のためにその地位と影響力を悪用して政策展開を行い、代償として多額の金円を収賄するという自民党政治の金権的体質に初めて法の鉄槌を下したものであり、執行猶予の不備があるとはいえ、妥当な判決である。

裁判所はまた判決のなかで、橋本、佐藤のみならず、田中角栄、二階堂進、佐々木秀世、福永一臣、加藤六月らと事件の関わりあいも触れ、ロッキード疑獄の全容をほぼ明らかにした。

これらの政治家は、この判決を謙虚に受けとめ、自らの出处進退を明確にし、その政治的道義的責任を全うすべきである。とりわけ有罪判決を受けた佐藤孝行議員は即刻辞職すべきであり、私たちはそのことを強く要求する(以下略)。

橋本、佐藤両被告にたいする有罪判決を受けて、六月二三日、ロッキード疑獄糾弾、政治責任追及中央総決起集会が、東京・清水谷公園で開催された。これは、総評、社会党、護憲連合、東京地評の主催によるもので、約一〇〇〇人が参加した。集会では、馬場社会党書記長、隈元総評国民運動局長など、各界の決意表明につづいて、「政財官ゆ着構造の打破をめざして広範な国民的運動を展開しよう」との決議を採択。国会に向け、デモ行進をおこなった。

【参考資料】(1)総評「第六六回定期大会・各局報告書」、(2)総評「労働ニュース」、(3)総評「総評新聞」、(4)同盟「第一七回定期大会報告」、(5)同盟「第五〇回中央評議会資料」、(6)同盟「同盟新聞」、(7)日本社会党「社会新報」、(8)日本共産党「赤旗」、(9)日本労働協会「週刊労働ニュース」、(10)日本原水協「原水協通信」、(11)日本平和委員会「平和新聞」

日本労働年鑑 第53集 1983年版

発行 1982年11月30日

編著 法政大学大原社会問題研究所

発行所 労働旬報社

2001年9月4日公開開始

